

2026年4月30日

各 位

持田製薬株式会社

肺動脈性肺高血圧症および間質性肺疾患に伴う肺高血圧症治療剤 MD-712（吸入粉末剤）の日本における製造販売承認申請のお知らせ

持田製薬株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：持田 直幸、以下「持田製薬」）は、肺動脈性肺高血圧症および間質性肺疾患に伴う肺高血圧症治療剤として開発を進めているMD-712（一般名：トレプロスチニル、以下「本剤」）について、このたび厚生労働省に製造販売承認申請を行いましたのでお知らせします。

本剤は、トレプロスチニルを有効成分とする吸入粉末剤で、薬剤があらかじめ充填されたカートリッジを、手のひらに収まるコンパクトな設計の専用吸入器に装着して使用する、利便性と携帯性に優れた製剤です。米国では、2022年より製品名TYVASO DPI[®]として販売されています。

肺高血圧症は、さまざまな原因により肺動脈圧の上昇を認める病態の総称です。このうち、肺動脈性肺高血圧症および間質性肺疾患に伴う肺高血圧症は、労作時の呼吸困難、易疲労感、動悸、めまいなどの症状を伴い、進行すると心不全を引き起こす難治性の希少疾患です。

持田製薬は、ユナイテッド・セラピューティクス社との契約に基づき導入した肺動脈性肺高血圧症治療剤トレプロスト[®]注射液を2014年より販売しています。さらに、2023年には肺動脈性肺高血圧症治療剤トレプロスト[®]吸入液を発売し、2024年には間質性肺疾患に伴う肺高血圧症の効能・効果が追加されました。本剤が加わることにより、肺高血圧症の治療選択肢がさらに拡大し、患者さんのQOL向上に貢献できるものと考えています。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

持田製薬株式会社 経営企画部広報室（TEL:03-3225-6303）